

～ 夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳の育成 ～ 幼小中一貫教育を推進！

未来へつながる通信

vol.149

発行：令和5年9月15日 袋井市教育委員会

中学生が地域のためにできることを考える ～袋井市総合防災訓練の取組～



災害時の中学生ボランティア育成

【アルファ米の炊き出し訓練をする中学生(於山名コミュニティセンター)】

9月3日に市内各所で行われた総合防災訓練には、多くの小中学生が参加しました。

避難所が開設された場合、中学生が果たす役割は重要だと言われています。食料の準備・配布、手助けが必要な人への支援、避難所の衛生管理等、過去の震災でも人手不足に陥りがちな避難所において、多くの中学生が活動の貴重な担い手となっています。全国アンケートによると「地域や社会のために何かしたい」と答える袋井市の中学生の割合は全国平均を7%ほど上回っています。中学生の意思を大切にしつつ、地域のために貢献できる人材を、地域で育てていく必要があります。



【止血方法など、応急処置の指導を受ける】

※WEBサイト「ふくろい教育ドットコム」のURLならびにQRコードはコチラ

<https://fukuroi-kyouiku.com>

「未来へつながる通信」は、袋井市が進める「幼小中一貫教育」について、考え方や関連する取組の様子などを、お知らせするために発行しています。

袋井市教育委員会 教育企画課 未来の教育推進室 86-3221

